

令和 3 (2021) 年度の評価結果一覧

令和 3 (2021) 年度は、10 の基本目標（関連する施策等）に対し、24 の業績指標を設定し、その実績を評価しました。評価結果の一覧を表 1 に示します。業績指標の評価結果の詳細は付録 1 の業績指標個票をご覧ください。

なお、資料中の【P】は、現時点での暫定的な値・記述であり、年度末の確定時に修正される場合があることを表しています（以降の資料・付録についても同様）。

令和3(2021)年度の業績指標一覧(表1)

最終年度の業績指標9個

基本目標: 戦略的方向性							
基本目標: 関連する施策等						取りまとめ課	
業績指標	目標の分類	初期値 (年・年度)	令和3年度		目標値 (年・年度)	担当課	
			実績値	評価			
1. 防災気象情報の的確な提供及び地域の気象防災への貢献							
1-1 台風・豪雨等に係る防災に資する情報の的確な提供						B	大気海洋部業務課
(1) 台風予報の精度の改善(台風中心位置の予報誤差) ＜実施庁目標＞＜政策チェックアップ業績指標＞	中期(5-1)	207km (R2)	204km[P]	a	180km以下 (R7)	大気海洋部業務課	
線状降水帯をはじめとする大雨のための雨量予測精度向上							
(2) ①降水短時間予報の精度(大雨の予測値と実測値の比) ②線状降水帯に関する防災気象情報の改善件数累計	中期(5-4)	①0.53(H29) ②0件(R2)	①0.51 ②1件	b	①0.55以上 ②2件 (R4)	大気海洋部業務課	
大雪に関する情報の改善							
(3) ①大雪の予測精度(大雪の予測値と実測値の比) ②雪に関する情報の新規提供件数	中期(5-1)	①0.63 ②0件 (R2)	①0.63[P] ②1件	a	①0.65以上(R7) ②1件(R3)	情報基盤部情報政策課 大気海洋部業務課	
1-2 地震・火山に係る防災に資する情報の的確な提供						A	地震火山部管理課
(4) 緊急地震速報の過大予測の低減(過大・過小予測の割合) ＜実施庁目標＞＜政策チェックアップ業績指標＞	中期(5-1)	10.7% (H28～R2平均)	0.6%[P]	a	8.0%以下 (R7)	地震火山部管理課	
(5) 津波警報等の視覚による伝達手法の活用推進(津波フラッグの導入割合)	中期(5-1)	14% (R2)	37%[P]	a	80%以上 (R7)	地震火山部管理課	
(6) 地震活動及び地殻変動の解析手法の高度化による「南海トラフ地震に関連する情報」の充実	中期(5-4)	定性目標	—	a	— (R7)	地震火山部管理課	
(7) 火山活動評価の高度化による噴火警報の一層の的確な運用 (火山活動評価を高度化して噴火警戒レベルの判定基準に適用した火山数累計) ＜実施庁目標＞	中期(5-1)	0火山 (R2)	2火山	a	12火山 (R7)	地震火山部管理課	
1-3 気象防災の関係者と一体となった地域の気象防災の取組の推進						B	総務部企画課
(8) 市区町村の防災気象情報等に対する一層の理解促進及び避難情報の発令の判断における防災気象情報の適切な活用の促進 (気象防災ワークショップに参加した職員の市区町村数) ①単年値 ②累計 ＜実施庁目標＞	中期(3-3)	①221市区町村 ②0市区町村 (H30)	①390市区町村 【P】 ②1,360市区町村 【P】	b	①600市区町村 以上 ②1,741市区町村 (R3)	総務部企画課	
(9) 住民の防災気象情報等に対する理解促進(地域気象防災リーダーの人数累計) ＜実施庁目標＞	中期(2-2)	0人 (R2)	1,955人【P】	a	1,800人以上 (R3)	総務部企画課	
2. 社会経済活動に資する気象情報・データの的確な提供及び産業の生産性向上への貢献							
2-1 航空機・船舶等の交通安全に資する情報の的確な提供						A	総務部企画課 大気海洋部業務課
(10) 小型航空機のための航空気象情報(下層悪天予想図)の拡充・改善 (新規に提供する航空気象情報の件数)	中期(2-2)	0件 (R2)	1件【P】	a	1件 (R3)	大気海洋部業務課	
(11) 海上交通安全等に資する情報の充実(各種情報の改善件数累計)	中期(4-2)	0件 (R2)	3件	a	5件 (R5)	大気海洋部業務課	
2-2 地球温暖化対策に資する情報・データの的確な提供						A	大気海洋部業務課
(12) 地球環境監視に資する海洋環境情報の充実・改善 (各種情報の新規提供・改善件数累計) ＜実施庁目標＞	中期(5-5)	0件 (H28)	5件【P】	a	5件 (R3)	大気海洋部業務課	
(13) 地域での気候変動適応における気象情報等の活用促進 (地域気候変動適応計画において気象庁の気候変動情報が利用された割合) ＜実施庁目標＞	中期(4-2)	94% (R2)	100%【P】	a	100% (R5)	大気海洋部業務課	
2-3 生活や社会経済活動に資する情報・データの的確な提供						B	大気海洋部業務課
(14) 天気予報の精度向上(明日予報における降水の有無の予報精度と最高・最低気温の予報が3℃以上はずれた年間日数) ①降水の有無 ②最高気温 ③最低気温 ＜実施庁目標＞＜政策チェックアップ参考指標＞	中期(5-5)	①91.8% ②33日 ③18日 (H28)	①92.4% ②28日 ③13日	b	①92.7%以上 ②30日以下 ③15日以下 (R3)	大気海洋部業務課	
(15) 天気予報の精度向上(週間天気予報における降水の有無の予報精度と最高・最低気温の予報が3℃以上はずれた年間日数) ①降水の有無 ②最高気温 ③最低気温 (H28)	中期(5-5)	①80.9% ②96日 ③63日 (H28)	①83.6% ②84日 ③53日	a	①83.0%以上 ②90日以下 ③56日以下 (R3)	大気海洋部業務課	
(16) 生活や社会経済活動に資する面的な気象情報の充実 (推計気象分布で提供する新規要素の数累計)	中期(3-3)	2要素 (H30)	3要素	b	4要素 (R3)	大気海洋部業務課	
2-4 産業の生産性向上に向けた気象データ利活用の促進						B	情報基盤部情報政策課
(17) 産業界における気象情報・データの利活用拡大に向けた取組の推進 ①(一財)気象業務支援センターに提供した気象情報・データの量 ②気象ビジネス推進コンソーシアム(WXBC)が主催するイベントへの参加人数累計 ③気象データアナリスト育成講座を受講した人数累計 ＜実施庁目標＞	中期(3-1)	①196GB ②5,661人 ③0人 (R2)	①205GB【P】 ②7,022人【P】 ③0人【P】	b	①200GB以上 (R3) ②7,000人以上 (R3) ③180人以上 (R5)	情報基盤部情報政策課	
3. 気象業務に関する技術の研究・開発等の推進							
3-1 気象業務に活用する先進的な研究開発の推進						A	気象研究所企画室
(18) 線状降水帯等の集中豪雨の予測精度向上を目指した、観測及びデータ同化技術の開発・改良に関する研究開発の推進(手法等の開発・改良件数累計) ＜実施庁目標＞	中期(5-3)	0件 (H30)	1件	a	2件 (R5)	気象研究所企画室	
(19) 適応策の策定を支援する高い精度の地域気象予測情報を創出するための地域気象予測結果の不確実性低減に関する研究開発の推進 (モデル改良等の件数累計)	中期(5-3)	0件 (H30)	1件	a	2件 (R5)	気象研究所企画室	
(20) 火山活動の監視・予測手法に関する研究開発の推進 (手法等の開発・改良件数累計)	中期(3-1)	0件 (R2)	0件	a	2件 (R5)	気象研究所企画室	
3-2 観測・予報システム等の改善・高度化						A	情報基盤部情報政策課 大気海洋部業務課
(21) 数値予報モデルの精度向上 (地球全体の大気を対象とした数値予報モデルの精度)	中期(5-1)	12.8m (R2)	12.7m	a	11.7m以下 (R7)	情報基盤部情報政策課	
(22) 二重偏波気象レーダーデータの解析雨量への活用(解析雨量に利用した件数)	中期(4-3)	0件 (H30)	0件	a	1件 (R4)	大気海洋部業務課	
4. 気象業務に関する国際協力の推進							
4-1 気象業務に関する国際協力の推進						B	総務部国際・航空気象管理官
(23) 静止気象衛星「ひまわり」の機動観測機能の活用等による二国間協力の推進 (ひまわりリクエストを利用した国の数累計) ＜実施庁目標＞	中期(3-3)	2カ国 (H30)	7カ国【P】	b	8カ国以上 (R3)	情報基盤部情報政策課	
(24) 温室効果ガスに関する国際的な取り組みへの貢献に向けた情報提供の拡充 (新規に提供した二酸化炭素関連情報の件数累計)	中期(4-4)	0件 (H29)	3件	b	4件 (R3)	大気海洋部業務課	

※目標の分類について、例えば「中期(5-1)」は5年計画の1年目を意味する。
 ※定性的な指標は目標値を「—」とした。
 ※＜実施庁目標＞：中央省庁等改革基本法(平成10年法律第103号)第16条第6項第2号の規定に基づき国土交通大臣から通知された目標
 ※＜政策チェックアップ業績指標・参考指標＞：国土交通省政策チェックアップにおける施策目標の業績指標または参考指標となっている指標